平成 23 年 11 月 4 日

各　位

会 社 名　明治機械株式会社
代表者名　代表取締役社長　　高橋　豊三郎
（コード番号　６３３４　東証第二部）
問合せ先　総務部長　　高工　弘
（TEL．03－5295－3511）

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成 24 年３月期第２四半期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することとなりましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、平成 22 年３月期決算短信以降、平成 24 年３月期第１四半期決算短信まで「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社は、当該状況を解消すべく、以下の対応策を講ずるとともに、基本的なコンセプトとして“本業回帰”をスローガンに、製粉・飼料・産業分野に経営資源の「選択と集中」を強力に推進し、一方で、子会社に係わる半導体製造装置関連事業の事業譲渡や株式譲渡による塗装工事関連事業並びに人材派遣関連事業の切り離しを実施してまいりました。

１）中期３ヵ年経営計画（第 136 期～第 138 期）の策定及びそのローリングによる「構造改革」の推進

２）経営コンサルタントからの助言・報告を活用した経営改善諸施策の立案と実行

３）産業機械関連事業部門

①大型プラント工事をはじめとする予算管理の徹底と適正利益の確保

②経費および材料費の削減

③クレームや不具合の発生などの利益阻害要因の削減

④原材料価格の変動リスクへの対応

⑤組織体制の改正

⑥連結子会社株式会社東京製粉機製作所との連携強化による相乗効果の追求

４）資金繰り

①当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、メインバンクを中心に既存取引銀行との緊密な関係を維持しつつ、継続的な支援をいただくことを前提とした資金計画の見直しと必要資金の調達の交渉と実行

②関連会社シンヨー株式会社から７億円の借入継続

③半導体製造装置事業の売上債権の回収において、子会社ラップマスターエスエフティ株式会社及び事業譲渡先であるミクロ技研株式会社による当該売上債権の回収推進

④大型飼料プラント工事や震災復興関連プラント工事に係わる契約に基づく確実な入金の実行

⑤「第２次中期３ヵ年経営計画」による「構造改革」の推進により、事業力の強化、製造原価の低減、販管費の削減により、営業利益とキャッシュ・フローの継続的確保

これらを着実に実行した結果、平成 24 年３月期第２四半期連結決算におきましては業績が大きく改善し、営業利益 323 百万円、経常利益 299 百万円、四半期純利益 286 百万円を予定しており、また、通期業績についても同じく改善が確実視され、営業利益 556 百万円、経常利益 582 百万円、当期純利益 741 百万円を予定しております。また、第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローもプラスの 2,245 百万円となる予定であります。一方、借入金につきましては、シンジケートローン８億円は９月末に返済済みであり、関連会社からの借入金７億円は同社株式の譲渡により 12 月に返済が確実であります。さらに、今後の当社グループの事業展開並びに財務、収益基盤を勘案したうえで、企業の継続に重要な疑義は存在しないとの判断に至りましたので、平成 24 年３月期第２四半期決算短信において当該注記の記載を解消することといたしました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様には、これまで大変ご心配お掛けいたしましたが、今後も全社あげてより一層の構造改革や安定した財務体制の構築を推進するとともに、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいる所存でありますので、引き続きご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

以　上